

<事業名> 忠臣蔵を陰で支えた女性～大石りく～

団体名	豊岡観光協会
所在地	豊岡市大手町
代表者名	会長 西松 伸二

事業内容	日時 平成30年10月28日(日)10時～18時 場所 豊岡市立図書館・いこいの庭 ほか 内容 ・理玖を語ろうお誕生会：ステージイベントと「りく」ゆかりの展示 ・京極家の350年：京極杞陽俳誌「木兎」・鞆産業の礎「杞柳細工」などの展示 ・「てくてくりくりく」と称して各イベントの同日開催 工夫した点 ・理玖の人物としての顕彰を活かし、理玖お誕生会をとおして、子育てグループ、商店街、豊岡市立図書館等と連携して、「てくてくりくりく」と称してイベントを同日開催した。 ・加えて歴史的に時を同じくした、理玖の生涯と杞柳産業を築き上げた京極家（入部350年）の両輪を合わせた展示等により内容を充実させた。 ・年齢層の高い人だけの集まりとならないよう、若い人たちも来場しやすいよう工夫した。
	地域 豊岡市
事業の効果	1 団体（組織）内の効果 協会内の企画部、事業部の部長を中心に積極的に取り組む体制が整ったことと、また、同日開催した関係団体との連携などにより、京極家のゆかりの品々のように新たな観光資源の発掘にもつながり、歴史ある豊岡の魅力の発信と誘客促進へ組織として取り組むべき新たな方向性が見出すことができた。
	2 地域への効果 りくのお誕生会をきっかけに、家族愛、子育て、家族愛、まちづくり、かぼんの聖地、京極家の家老、とよおかの文化などをキーワードに子育て団体、商店街、豊岡藩主京極家との輪が広がり、各団体のイベントを「てくてくりくりく」と称して同日に開催できたことで相乗効果が生まれ、親子連れなど若い人たちにも“りく”を知ってもらえる機会となった。また、まちの賑わい・活性化にもつながった。
事業経過	30年4月20日 平成30年度夢但馬応援事業助成金申込提出 30年6月6日 夢但馬応援事業企画提案説明（長寿の郷） 30年6月19日 夢但馬応援事業助成金の交付決定 30年6月21日 観光協会三役・部会部長合同会議（市民プラザ） 30年7月20日 観光協会事業部・企画部合同部会（豊岡コミュニティセンター） 30年8月17日 「てくてくりくりく」（仮称）関係団体の協議（宵田いっぷく堂） 30年8月22日 大石りくを語り継ぐ事業協議（市民プラザ） 30年9月14日 りくのお誕生会関係者打ち合わせ（豊岡市図書館） 30年9月21日 「てくてくりくりく」関係団体の協議（宵田いっぷく堂） 30年9月29日 京極高晴氏が出席された全国藩校サミットに参加（舞鶴市） 30年10月21日 「てくてくりくりく」関係団体の協議（宵田いっぷく堂） 30年10月27日 りくのお誕生会ステージ、展示会場設営（豊岡市図書館） 30年10月28日 「てくてくりくりく」 りくを語ろう～お誕生会～ りく読み聞かせ、舞踊、京極家の350年・りくゆかりの展示など。 30年10月29日 りくのお誕生会ステージ、展示会場撤去など片付け 30年12月4日 「てくてくりくりく」 りくを語ろう～お誕生会～報告（サンスト館） 31年1月24日 りくを語ろう～お誕生会の反省・次年度の協議（豊岡コミュニティセンター） 31年1月31日 事業終了（精算・報告書作成等）

協働の相手方	ハグハグフェスタ豊岡実行委員会 豊岡市立図書館 豊岡駅通商店街振興組合 宵田商店街振興組合 豊岡市街地区長会・豊岡理玖子会・豊岡義士会 豊岡市歴史博物館・市立美術館（展示等指導）
今後の課題等	<p>〈事業を実施する上での課題〉</p> <p>1 団体（組織）の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな事業への取り組みに年齢層の高い方と若い人たちの思いに温度差があり、調整に時間を要した。今後は啓発活動や取組みに遅れが出ないように努力したい。 ・他方「てくてくりくりく」として各イベントを同日開催できる形を整えることができたので、さらに観光振興や誘客促進の起爆剤となるよう推進していきたい。 <p>2 地域の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誇りある豊岡の歴史・文化、まちなみなどを語れる“語り部”的人材の不足もあり、今後はこの事業を活かして人材の育成につながるようにしたい。 ・商店街・図書館、子育てグループなどの協働により、高校生の参画や親子も楽しめるなど年齢層の幅広い集客に手ごたえを感じたところであるが、他地域からの誘客促進や周遊していただくためには、コインロッカー、荷物預り、貸出自転車などの受入環境が未整備であり、関係機関に働きかけていきたい。 <p>〈31年度以降の事業計画〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・30年度の協働体制を維持し「てくてくりくりく」のイベント内容を活かし、さらに充実した・地域づくりにつながるよう10月の開催に向け事業計画の協議を進めたい。 ・次年度は大石りく生誕350年になるが「大石りくを語り継ぐ実行委員会（仮称）」の設立準備が進められている。



30年10月28日「日本舞踊：りくと大忠臣蔵」



30年10月28日「展示：京極家350年」



30年10月28日「同日開催：ハグハグフェスタ」



30年10月28日「展示：りくゆかり展」